

令和3年度第1回総合教育会議 会議録  
(概略版)

と き：令和3年8月23日（月）14時00分

ところ：湯前町役場 応接室

湯 前 町

令和3年度第1回湯前町総合教育会議 会議録 (概略版)

令和3年度第1回湯前町総合教育会議を令和3年8月23日午後2時00分より、湯前町役場応接室にて会議を開く。

出席者

湯前町長 長谷 和人  
湯前町教育長 中村 富人  
湯前町教育委員会委員 村井 信照  
湯前町教育委員会委員 林 敦子  
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子  
湯前町教育委員会委員 堤田 秋男

委員以外の出席者

湯前町副町長 富安 智詞  
総務課長 高橋 誠  
教育課長 中園 誠二  
教育課主幹 浅田 徹  
企画観光課係長 岩野 浩平  
企画観光課主事 滝上 紘史

(開会) 午後2時00分

中園課長 開会

長谷町長 挨拶

- ・参加者出席お礼
- ・西日本激甚災害
- ・新型コロナウイルス感染症と湯前町ワクチン接種状況
- ・教育関係施策の実施状況
- ・総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画の概略

中村教育長 挨拶

- ・主催者お礼
- ・活発な意見交換と行政への反映

【配布資料】

- 1 式次第
- 2 第6次湯前町総合計画（抜粋資料）・第二期湯前町総合戦略（概要版）  
湯前町過疎地域持続的発展計画（素案）
- 3 湯前小学校外部改修工事関係資料
- 4 情報教育（ICT教育）関係資料
- 5 特別支援教育関係資料

長谷町長 協議進行

- 第一議題「第6次湯前町総合計画及び第2期湯前町総合戦略並びに湯前町過疎地域持続的発展計画策定について」

- ・担当者説明（企画観光課）岩野係長・滝上主事  
第2期湯前町総合戦略、第6次湯前町総合計画、過疎地域持続的発展計画の時系列順で説明

長谷町長 補足説明3点

- ・「マイホームタウン湯前」キャッチフレーズ趣旨
- ・各計画期間の設定
- ・新規補助事業の学校給食費補助の財源経緯

質 疑

堤田委員

- ・総合計画の中の図書館利用者数目標
- ・図書室の拡張予定

長谷町長 質疑確認

- ・目標値の図書館利用数 現況837を1,500（令和5年度目標値）  
ハード事業が伴うか

浅田主幹 説明

- ・図書館利用者数は読書推進で利用者増加目標としている
- ・農村環境改善センター等改修工事基本設計の中で公民館棟と美術館棟の改修計画を計上しているが図書室を拡張する内容ではなく、公民館棟などの改修を通じて利用者増を図る

長谷町長 補足説明

- ・公民館棟視聴覚室、美術館改修計画があるが、令和2年度7月豪雨の災害復旧を優先し事業が先送りとなっている

堤田委員

- ・ 公民分館施設の耐震化事業等如何
- ・ 教育費に係る交付税

長谷町長 回 答

公民分館の建設費、運営費及び敷地購入に係る補助金事業での事業を想定

堤田委員 意 見

- ・ 大規模災害時の公民分館の地域拠点化

村井委員 意 見

- ・ 災害時の炊出など公民分館が機能発揮の可能性

堤田委員 意 見

- ・ 各地区自主防災組織の存在とその他の地域活動拠点としての分館施設

長谷町長 見 解

- ・ 町防災計画は南縁断層地震を想定した防災計画としている
- ・ 26 公民分館全ての改修とコミュセンなどの中核施設型で検討を進めたい

高橋総務課長 説 明

- ・ 公共施設等総合計画があるが公民分館が地区所有物件のため計上していない、公民分館の耐震化等は検討が必要と考えている

長谷町長 見 解

- ・ 避難経路等も含め避難所としての位置付等を検討する

高橋総務課長 説 明

- ・ 教育費に係る交付税  
児童数、学級数等々で算定され小学校費で3千万強、中学校費で2千万強  
その他の教育費がこども園や施設で、6千3百万程度  
交付税措置全体額15億の内数

総務課長 説 明

- ・ 財政的に課題となっているのが特別支援教育支援費の経費  
国の交付税措置は固定型となっている。人吉球磨全体として要望活動の中にも盛り込む予定としている

長谷町長 まとめ

- ・ 今回の総合計画と過疎計画の中で、教育施設、文化施設も含み老朽化対策等を優先度も加味しながら予算化を検討していく。教育施設に限らず公共施設等全般に渡り老朽化対策も進めていきたい。

○ 第二議題 湯前小学校外部改修工事の進捗について

浅田主幹 資料説明

町 長 補足説明

- ・副町長と現地進捗を実施
- ・校舎内への雨漏対策を最優先としている

全 委 員 質疑なし

○ 第三議題 情報教育及び特別支援教育について

浅田主幹 資料説明【情報教育（ICT教育）まで】

長谷町長 質 問

- ・小学校の音楽室、理科室への電子黒板整備状況

浅田主幹 回 答

- ・既存モニター型で電子黒板は未整備
- ・電子黒板整備状況は小学校14台、中学校8台、小学校は数台不足との意見がある

長谷町長 質 問

- ・授業時間でのタブレット活用状況
- ・R1年実績 小学校6.6%。中学校15.4%。R2年度は伸びたのか

浅田主幹 説 明

令和元年度の実績で新規タブレット導入前の数値

令和2年度は未調査であるが使用学年・科目も増し授業時数ベースの活用増を推定

中村教育長 説 明

デジタル教科書は、国語、算数を主に使用している

村井委員 質 問

- ・指導者（先生）のICT研修はあるか

浅田主幹 説 明

従前より学校内研修がある。今年は特に新しい機種が入ったため導入機種販売会社の有料研修も実施、熊本県教育委員会においても無料研修等を準備している

長谷町長 質 問

- ・本町導入のSKYは、熊本県で多い機種か

浅田主幹 説 明

少なくとも人吉球磨管内では多数派（市町村数で半分以上）

村井委員 質 問

・学習効率を上げるための ICT 機器導入であるが、先生の負担が増や児童・生徒の困惑も想定され、スムーズな導入が肝要では

浅田主幹 回 答

書類配布や諸連絡なども将来的には端末機器（タブレット）での実施が見込まれており、指導者・学習者ともに使い慣れていただきたい

長谷町長 質 問

・各家庭でのインターネット環境（WIFI 整備済）が 63%であるが、全児童・生徒の端末持ち帰り対応如何

浅田主幹 説 明

コロナ予算を活用し貸出用のルーターを導入しており、一斉休業であれば、町光回線の無償解放や減免解放で検討している

長谷町長 質 問

・ルーター設定は簡単にできるものか

高橋総務課長 回 答

機器に詳しい方でないと、できない可能性もある。現状は各家庭対応であるが今後が問題と考えている。インターネット民間移譲の話もあり今後の課題となる

林 委 員 質 問

・ルーターは在学中常時の貸出であるか

浅田主幹 回 答

現状では持ち帰りがほとんどない。病気や特別事情の期間だけ持ち帰り事例はある。現段階ではルーターの常時貸出に至っていない

村井委員 質 問

・オンラインや遠隔授業の課題如何

長谷町長 質 問

・リモート授業の実施如何

中村教育長 回 答

病弱の児童生徒で 2 件の実施実績がある

長谷町長 質 問

・児童生徒全員参加での遠隔授業等如何、山江村はどのような状況か

中村教育長 回 答

山江村はケーブルテレビ方式で課題はないと伺っている

全国的に一番進んでいるのは熊本市と伺っているが、課題も多いように聞いている

藤岡委員 意 見

人吉高校での端末持ち帰り事例

長谷町長 質 問

大学校でのリモート授業実施状況如何

村井委員 回 答

大学では一方向型で授業を配信しテストを受けるといった事例がある

・その他議論 機器更新について

中村教育長 意 見

全国的には佐賀県での ICT 活用が進んでいた

武雄市を中心に常時持帰りでの家庭学習や宿題が行われていたが費用膨大で休止したと伺っている

今般コロナを契機として全国的にひとり 1 台端末が整備されたが、更新時期の財政負担は課題になると考えられる

長谷町長 進 行

特別支援教育について議題とする

浅田主幹 (資料説明)

長谷町長 補足説明

- ・特別支援教育支援員の課題として財政面、支援員一人に対する児童生徒数がある  
財政面では年間 2,400 万ほどの経費があり内 1,900 万は一般財源となっている  
財政支援については毎年国に要望をしているが、交付税措置の拡充に至っていない  
教育委員会側でも財政面での要望活動等をお願いしたい  
財政措置に関しては特殊事情増高や普通交付税算定への移行等も要望している
- ・本町は児童生徒数が少ない中において特別支援在籍率が高いと感じる  
幼保小連携、保健福祉課との繋がりが良く出来ているということの意味すると考える

堤田委員 意 見

- ・湯前は、他町村と比較して特に早くから、学校と保育所と保健師の連携が上手くいつている
- ・発達障害の子どもを見る機会があったが先生たちのご苦勞が感じられた
- ・支援員さんの研修などによる資質向上を期待している

村井委員 質 問

フリースクールなどの受け皿如何 (支援学校以外の選択肢)

長谷町長 質 問

・以前は保護者の抵抗感もあるように伺っていたがどのような状況と捉えるか

中村教育長 回 答

学校で必要性が感じられるものとして、社会福祉士やソーシャルワーカーなどの人材  
があり

背景としては児童生徒の課題対応と保護者の対応が考えられ、保健師対応や児相案件  
もある

長谷町長 意 見

保健師の事案対応を含め本町のみならず社会変化による課題と認識している

堤田委員 意 見

手が回らず子供たちに寄り添うことができてないと感じる

中村教育長 回 答

特別支援在籍に限らず虐待や放任といった問題も想定される

共通課題としては、家族関係の複雑さがあり学校として対応できない課題もあると考  
える

長谷町長 進 行

以上で情報教育と教育支援についての協議を終え、その他の協議に移ります

中園教育課長 進 行

この会議を終え引き続き教育委員会定例会を開催しますが、委員皆様から何かその他  
はありますか

全 委 員 無 言

中園教育課長 進 行

ないようですので、これもちまして、令和3年度第1回総合教育会議を閉会させて  
いただきます。ありがとうございました。

全 員 ありがとうございます。

午後3時52分閉会

作成者 教育課長 中 園 誠 二（概略版作成：浅田）